



『1学期を振り返って』

校長 勝 幸 八

【1学期を振り返って】

1学期が終了しました。1年生は高校生活に慣れた頃だと思います。課題の量が多いたいへんだとの声を聞きますが、6月に実施した学校評価の生徒アンケートでは、「出された課題は提出している」との質問に対して、平均で1年3.5、2年3.5、3年3.7、全体3.6との結果でした。

(各人が回答した値の平均値。4はよくあてはまる、3はややあてはまる、2はあまりあてはまらない、1はまったくあてはまらない)

同じアンケートで「学校行事は充実しており、積極的に取り組んでいる」への回答は全体3.3、同じく「部活動は意識を持って活発に行っている」は3.6で学校行事、部活動にも積極的に意欲的に取り組んでいることが見られます。実際に小中高合同の「歓迎遠足」では生徒会役員を中心として企画運営し小学生や中学生の中に入り一緒に楽しく活動していました。「進路講演会」、「心に響く人生の達人セミナー」などの講演の感想文からは、講師の先生の話をもとに、それぞれがいろんなことを真剣に考えていることがわかります。また、大学の先生方との懇談会では自分の将来や小値賀について熱心に話し、予定時間を30分もオーバーしてしまいました。部活動では高総体、甲子園県大会、連合音楽会という大きな大会がありました。それぞれの部で大会に向かって日々練習し大会に臨みました。

1学期はじめに始業式や入学式で話した、「一步一步、着実に進むこと、授業や部活動、学校行事へ、しっかりと取り組むこと」、「今、現在、自分がやらなければならないことに最善を尽くすこと」などを生徒達が実践していることを見た1学期でした。

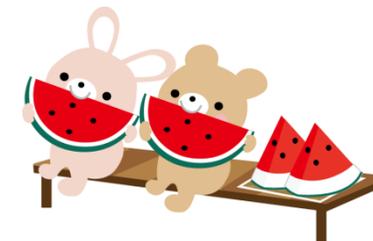
【思いは招く】

植松努さんの講演を聴く機会がありました。著書の「NASAより宇宙に近い町工場」は6～7年前に話題になった本です。子どもの頃から飛行機やロケットに興味をもち、物作りが好きだったそうです。宇宙開発が夢だったが、周囲からは、よっぽど頭がよくないと無理、すごくお金がかかるから無理、国家事業だから無理といわれ続けたそうです。現在、北海道の従業員19名の町工場産廃物からの除鉄、選鉄に使う電磁石の開発製作を手がけるかわら、大学などと協同して安価で環境に優しいロケット開発を進めている方です。その講演の中で印象に残っている言葉を紹介します。

- 「どうせ無理」は人の自信と可能性を奪ってしまう言葉。「どうせ無理」ではなく、「こうしてみたら」と言ってみたらどうか。
- 人は足りないから助け合うことができる、足りていたら人の助けは必要ない。足りないことをばかにしてはいけません。また、恥ずかしいと思わなくてもいい。
- 自分は何をやっても中途半端と自分を責める必要はない。中途半端はなにもしないより何もできないよりいい。ちょっとできているから。中途半端な自分を責める必要はなく、足りない自分をマイナスに思う必要はない。一生懸命できることをすればいい。
- 一回きりの人生をぶっつけ本番で生きている。失敗はよりよくするためのデータにすぎない。ぶっつけ本番だから失敗してあたりまえ、失敗した自分を、逃げた自分を、あきらめた自分を責めない、へこまない。そんなとき心の中では苦しい、つらい、申し訳ない、悔しい、悲しい、恥ずかしいなどいろんな感情が渦巻いている。でも、このときの自分をただいま成長中という。
- 仕事は社会や人のために役にたつこと。夢は自分が大好きなことややってみようこと。など前向きになり、元気がでる話でした。「思いは招く」とは、おもしろい続けたらそうなる母親が教えてくれた言葉だそうです。

8月の行事予定

日	曜	行事予定
1日	月	夏季学習会(～8日)
4日	木	救急法講習会
9日	火	平和学習
17日	水	後期夏季補習(～24日)
20日	土	3年校外模試～21日
22日	月	県立大学看護出張講義
25日	木	始業式 1, 2年課題確認テスト 自転車点検
26日	金	1, 2年課題確認テスト
27日	土	ソフトテニス島原選手権大会(～28日)
29日	月	中高合同体育祭合同練習(6校時)
30日	火	中高合同体育祭合同練習(6校時)
31日	水	中高合同体育祭合同練習(6校時)



— お知らせ —

○ **中高合同体育祭** 9月11日(日) [予備日9月13日(火)]

スローガン「一念通天 ～風になれ、魂を燃やせ～」

皆様のご来場をお待ちしております。

心に響く人生の達人セミナー(8日)

7月8日(金)、視聴覚室において「心に響く人生の達人セミナー」が実施されました。音楽家、山口 薫氏をお招きし、「音楽は人と人をつなぐ言葉～音楽世界一周旅行～」の演題で講話をしていただきました。世界での体験談を生徒は真剣に耳を傾けていました。



生徒会選挙(6月23日)

6月23日(木)に生徒会役員選挙が実施されました。文化委員長による選挙に対する心構え、立候補者の立会演説会、投票要項の説明の後、投票が行われました。立会演説は応援演説、立候補者演説の順序で行われ、北松西高校をさらに発展させるために必要なこと、そのことに対する自分の思いを熱く語ってくれました。公職選挙法の一部改正により満18年以上満20年未満の者が選挙に参加することができるようになり、今回の投票についてはその練習も兼ねて実際の選挙投票と同じ方法により体育館で実施されました。

投票後、新役員が選出され、以下のような結果となりました。

会長 島田 和海(2-1)

副会長 橋本 大輝(1-1) 松永 奈々(2-1)



公開授業ウィークス（6月22日～7月1日）

6月20日（月）から7月1日（金）の公開授業ウィークスにおいて、高校では3年英語、3年現代社会、1年音楽の公開授業を行いました。多くの方に参観していただきありがとうございました。



3年 英語 浦田先生



3年 現代社会 山崎先生



1年 音楽 林田先生

小中高合同海岸清掃（1日）

7月1日（金）、小中高合同で小値賀町内の海岸（ふなせ、赤浜、浜崎鼻、はもき海岸、大島）および姫松近辺の清掃活動を実施しました。それぞれの場所で小中高生混合の班になり、協力しながら活動を行い、ゴミのない綺麗な海岸にしました。



高校生から全体説明



力を合わせて



みんなで協力



ゴミがたくさんあるよ



みんなで一致団結



丁寧に作業してます

進路講習会～2・3年生～（7日）

7月7日（木）、視聴覚室において2、3年生を対象に進路講習会が実施されました。

キャリアコンサルタント・若者自立支援長崎ネットワーク代表理事 浜 民夫 氏をお招きし、インターンシップに参加するにあたっての心構えやビジネスマナー、進学・就職の受験に必要な面接に関する情報などの講話をしていただきました。



校内球技大会（19日）

7月19日（火）、校内球技大会（バレーボール）を実施いたしました。猛暑の中、生徒たちは元気なプレーを見せてくれました。結果は以下の通りです。

優勝

男子 D（橋本、牧尾、伊藤、福崎、神川航、谷元、牧尾康）

女子 C（永田美、橋本、永田彩、村中、川村美、護山）



第98回全国高等学校野球選手権長崎大会

7月8日（金）の開会式を皮切りに夏の甲子園大会長崎県予選が始まりました。「ワクワク、ドキドキ甲子園」のスローガンのもと、同日10日（日）に1回戦、16日（土）に2回戦がおこなわれました。対戦結果は次のとおりです

1回戦 北松西 10－3 島原翔南（8回二死コールド）

2回戦 北松西 0－11 長崎北（6回コールド）



2年連続初戦突破

私たちは7月8日に開幕した甲子園予選に参加してきました。今年のチームの目標はベスト8に入ることでしたが、目標を達成することができませんでした。私たちは小学校の頃から同じチームで野球をしてきました。このメンバーで野球をしてきたことは私たちの誇りです。1、2年生には今年以上の結果を残してほしいと思います。私たちが野球を続けることができたのは支えてくださった保護者、指導してくださった方々、応援してくださった方々、地域の方々がいたからだと思います。最後まで温かい応援ありがとうございました。

（主将：3年1組 村田健成）

編集後記 松のひとりごと・・・

いよいよ夏休みが目の前に迫っています。皆さんはこの夏に取り組みたいことや目標はあるでしょうか。雨もまだまだ続いています、気温も高くなっていますから体調には十分気を付けて、充実した日々を過ごしたいですね。

